

1. 担当者向け視察・意見交換会

- 1) 日 時 令和6年7月23日(火)～24日(水)
- 2) 場 所 青森港
- 3) 参 加 者 構成団体、オブザーバー 31名
- 4) 内 容

意見交換(23日 14:30～15:30)

場 所：青森港国際クルーズターミナル

司 会：東北地方整備局

議 題：各県におけるクルーズ振興に関する取組や寄港観光事例紹介
東経連におけるクルーズ誘致への取組

受入準備状況視察(23日 15:30～16:00)

場 所：青森港国際クルーズターミナル

内 容：施設概要説明

説明者：青森県

青森港概要説明(23日 16:10～17:00)

場 所：青森県観光物産館アスパム 展望室

内 容：洋上風力発電など

説明者：青森港湾事務所

受入状況視察(24日 7:00～10:00)

場 所：青森港国際クルーズターミナル

内 容：受入対応概要説明及び自由視察

説明者：青森県



視察・意見交換会の様子

2. 東北クルーズカンファレンス

- 1) 日 時 令和6年12月18日(水) 13:30～15:10
- 2) 会議方式 WEB会議方式
- 3) 参加者 構成団体、オブザーバー 52名
- 4) 内 容

東北のクルーズ振興を目的として、クルーズ業界を取り巻く諸情勢等に関する講演及び意見交換を行った。

講演では、東武トップツアーズ株式会社ソーシャルイノベーション推進部営業担当部長濱野氏から日本のクルーズ状況についてご講演いただき、三井住友カード株式会社マーケティング本部データ戦略ユニットプランナー福島氏から購買データの利活用についてご講演をいただいた。

講演後は、個別商談会を行い、クルーズ船誘致に関する意見交換が行われた。

演題：『日本を取り巻くクルーズ船の状況と当社 2025 年取扱情報』

講師：東武トップツアーズ株式会社

ソーシャルイノベーション推進室営業担当部長 濱野 一哉 氏

要旨： 2023年の外国クルーズ船寄港回数は、コロナ禍前のピーク時(2017年)の約63%まで回復している。コロナ再開後は、コロナ禍前(2016～2019年)と比較して、ラグジュアリー・エクスペディション船の寄港回数が増加傾向。



2023年に外国クルーズ船が寄港した港湾のうち、29の港湾で外国クルーズ船が初寄港となったが、初寄港実績は西日本に集中している。東北管内港湾における新たな港湾候補の検証と新規寄港誘致活動の強化が必要。2025年は西日本エリアを中心に、外国クルーズ船の運航・寄港が活性化している。

ランドオペレーターの営業から寄港日直前までの流れを知り、上質な寄港地観光ツアーの船内販売を可能とするアクションが必要。

演題：『購買データの利活用によるクルーズ船事業の未来』

講師：三井住友カード株式会社

マーケティング本部データ戦略ユニットプランナー 福嶋 裕之介 氏

要旨： 2025年の6月のキャッシュレス比率40%の達成は目前。

膨大なキャッシュレスデータの蓄積/分析/活用を一気通貫に行い、貴社の売上/利益拡大を実現するマーケティング支援サービス

「custella」では、カード会員・加盟店両軸で国内最大規模の精緻な決済データを保有。市場/競合動向と見比べたり、インバウンドを深掘ったりと既存顧客/潜在顧客の精緻な消費行動の把握が可能。

購買データを活用し、クルーズ船利用の見込みが高い顧客を見出し、その顧客が何を求めているのかをお伝えすることにより売上/利の向上に貢献できると考えている



カンファレンスの様子